

夏休み！恐竜・化石ギャラリー 期間限定・無料一般公開！（事前予約制）
～全身複製骨格「ヴェロキラプトル」など 10 種類以上の化石が新たに仲間入り～

絵本作家・大島 英太郎さん 新刊『恐竜のあたまの中をのぞいたら』原画展も同時開催
本ギャラリーを監修された“恐竜博士” 真鍋真さんサイン会も実施します

日時：2024 年 7 月 20 日（土）～7 月 24 日（水）

場所：成城学園 杉の森館 恐竜・化石ギャラリー（成城学園内）

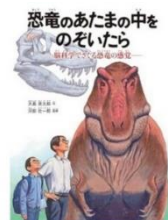


学校法人成城学園（東京都世田谷区 理事長：宮島 和美）は、スピノサウルスやティラノサウルスなど希少な化石約 150 点を展示している「成城学園 杉の森館 恐竜・化石ギャラリー」（以下、恐竜・化石ギャラリー）を、2024 年 7 月 20 日（土）～24 日（水）の 5 日間、無料一般公開いたします。

「恐竜・化石ギャラリー」は、新たに全身複製骨格化石「ヴェロキラプトル」や、マンモスの下顎、スピノサウルス 尾椎（18 番）、ワニ化石、アンキロサウルス（スパイク）など 10 種類以上が加わり、2024 年 6 月 1 日（土）にリニューアルいたしました。通常は一般公開をしておりますが、昨年に続き、今年のご要望が多かった週末を含めた夏休みの期間限定で一般公開いたします。

また、「恐竜・化石ギャラリー」内での展示や、国語の教科書を通して親しまれている『とりになったきょうりゅうのはなし』の著者・大島英太郎さんによる新刊絵本『恐竜のあたまの中をのぞいたら』の原画を特別展示いたします。また、7 月 21 日（日）にはサイン会を開催いたします。

7 月 22 日（月）には、真鍋真さんが監修された新刊『きょうりゅうのわかっていること・わかっていないこと』／『きょうりゅうレントゲンびょういん』の発売を記念したサイン会を開催いたします。



◇ 成城学園 恐竜・化石ギャラリー夏休み特別公開概要 ◇

『恐竜のあたまの中をのぞいたら』
-脳科学でさぐる恐竜の感覚-

【期 間】：2024 年 7 月 20 日（土）～7 月 24 日（水）5 日間

10：00～16：00（最終入館 15：30） ※最終日は 15 時まで（最終入館 14：30）

※会期中、大島 英太郎さん 新刊『恐竜のあたまの中をのぞいたら』原画展も同時開催

★大島 英太郎さん 新刊『恐竜のあたまの中をのぞいたら』サイン会

7 月 21 日（日）13：00～15：30 著者在廊

★真鍋真さん 新刊『きょうりゅうのわかっていること・わかっていないこと』／『きょうりゅうレントゲンびょういん』サイン会

7 月 22 日（月）①11：30～、②14：00～ 2 回実施

※サイン会は、来場者限定です。参加は、当日会場内の書籍販売コーナーにて、書籍を購入された方に限ります。

※参加されたい日時のチケットをお申し込みください。

※開始・終了時間は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

※真鍋先生への質問は 1 つまでとさせていただきます。

【場 所】：成城学園 杉の森館 恐竜・化石ギャラリー

【入 場 料】：無料

【予 約】：完全予約制 専用予約サイトよりお申し込みください。

予約時間 10：00、11：00、12：00、13：00、14：00、15：00

各時間 定員 200 人 ※1 回のお申込みで、4 名までお申込みいただけます。

・必ず成人の方が同伴してください（お子様だけのグループはご遠慮ください）

・未就学児は人数に含まれません。



【申し込み方法】： 下記予約専用ページからお申込みください。右図の QR コードをご利用ください。

<https://teket.jp/10157/35175>

【アクセス】： 小田急線成城学園前駅中央改札北口徒歩 4 分（<https://www.seijo.ac.jp/access/>）

【お問い合わせ】： 成城学園 企画広報部 03-3482-1092

◆期間中 毎日開催！“お面作り”のワークショップ

昨年大好評だった塗り絵のお面づくりのワークショップを今年も実施いたします。

今年は、日替わりでデザインを変え、期間中毎日先着 300 名の来館者対象に、開催を予定しています。

「恐竜・化石ギャラリー」にいる恐竜・海棲爬虫類のお面を、ご自分で想像しながら色付けし、お面づくりをお楽しみいただけます。

対象：期間中毎日ご予約時間毎先着 50 名（小学生以下）、計 300 名

参加費：無料

大島 英太郎（おおしま えいたろう）氏 プロフィール

栃木県生まれ。子どもの頃から、自宅に近い渡良瀬遊水地に通って、長年野鳥の観察を続けてきた。また、恐竜に関する質問状を、国立科学博物館の研究者に送ったのがきっかけで、恐竜にも興味をもつようになる。科学絵本、物語絵本の両方の分野で、鳥や昆虫、恐竜などをモチーフにした絵本を発表している。絵本に『とりになった きょうりゅうのはなし』『きょうりゅうのおおきさってどのくらい』『羽毛恐竜 恐竜から鳥への進化』（福音館書店）など。



【新刊】『恐竜のあたまの中をのぞいたら-脳科学でさぐる恐竜の感覚-』

大島英太郎作 / 河部壮一郎 監修（福音館書店）
発売日：2024 年 7 月 10 日 / 定価：1,760 円（税込）

真鍋 真（まなべ まこと）氏 プロフィール

1959 年生まれ。東京都出身。

横浜国立大学卒業、米エール大学大学院修士課程修了、英ブリストル大学で博士号取得。

国立科学博物館 副館長・研究調整役、標本資料センター・コレクションディレクター、分子生物多様性研究資料センター・センター長。恐竜など、中生代の爬虫類、鳥類の進化を研究しながら、特別展の企画や図鑑の監修などを数多く手がける。



©田中健一

■「成城学園 杉の森館 恐竜・化石ギャラリー」について

恐竜・化石ギャラリーは、“恐竜博士”としても知られる、国立科学博物館 副館長・真鍋真氏総監修の下、2020 年 11 月に学園内の旧校舎を改装し、開設・開館した小さなギャラリーです。「化石」をきっかけに、子供たちに「もっと知りたい」という“知”の探求心を育ててもらいたいという思いから、成城大学・卒業生のコレクターから寄贈・提供いただいた化石を中心に、古生代・中生代・新生代の海洋生物と陸上生物の化石など約 150 点を展示しています。

